2026 年 11 月 10 日

「親が重い病気になったとき、子どもがそれを理解し、向き合えるよう支えるには」
明治安田総合研究所 特別フォーラム 2025／Hope Tree フォーラム 2025 の動画を公開しました

明治安田総合研究所は、「親が重い病気になったとき、子どもがそれを理解し、向き合えるように支えるには」をテーマとして、2025 年 11 月 14 日（金）に明治安田総合研究所 特別フォーラム 2025／Hope Tree フォーラム 2025 を開催しました。

本講演のアーカイブを明治安田総合研究所の YouTube より配信します。

米国の Wonders & Worries の共同研究者であり、病気の子どもとその家族への心理社会的支援の第一人者であるキャスリーン・マッキュー（Kathleen McCue, MA, LSW, CCLS）氏と、Wonders & Worries で臨床プログラムディレクター等を経て、現在は全米プログラムディレクターとして家族・専門職への支援を全米で展開しているキム・フライヤー（MS, MEd, CCLS）氏をお招きし、ご登壇いただきました。

Wonders & Worries は、親が重い病気やけがを負った場合に、その子どもやティーンエイジャーへの支援活動を行なっています（https://wondersandworries.org/）。

【YouTube 動画】

YouTube から動画をご覧いただけます。

以下、二次元コード・URL からアクセスできます。

https://www.youtube.com/watch?v=2xdAY-3tYOo

【内容】

00:15　開会のあいさつ
01:01　主催者あいさつ
02:43　講師紹介
04:13　講師自己紹介
05:23　親が子どもに望むこと
06:26　親が重い病気を告げられたときに最もよく抱く不安
07:16　親が重い病気になったとき
08:35　子どもたちがよく抱く質問
09:57　子どもにとってストレス要因となりやすい点
11:02　支援のための戦略
11:29　病気についての教育
26:24　医療的な出来事への準備
37:28　家族のつながりを保つ
43:25　こころの回復力を育む
50:57　私たちがこの活動を行なう理由

明治安田総合研究所は、特定非営利活動法人 Hope Tree と包括連携協定を結んでいます。
（Hope Tree: https://hope-tree.jp/）

【掲載に関するお問い合わせ先】

明治安田総合研究所　開発支援部　ラベンダーセンター　080-2298-8298（増子）

（ご参考）

■特定非営利活動法人 Hope Tree について（2008 年活動を開始、2015 年設立認定。所轄庁、川崎市）

Hope Tree（ホープツリー）は、親ががんになった子ども、そしてその患者さん、ご家族を支援する団体です。「親が病気になっても、子どものたくましい力を育みたい」「病気になって子育てに自信がなくなっている患者さんを支えたい」と、2008 年に医療ソーシャルワーカー・臨床心理士・チャイルドライフスペシャリスト・医師・看護師が集まり、活動を開始しました。日本では全く未着手の分野だった親ががんになった子どもの支援にいち早く取り組み、がんになった親を持つ子どものサポートグループ CLIMB®を 2010 年から運営。これまで約 160 人の子どもたちを支援してきました。

昨年度は、明治安田総合研究所の支援も受けて、親をがんで亡くした子どもを対象としたグリーフサポートプログラムを開催。がん診断時から終末期、死別後まで幅広い段階の患者さんや子どもを支援しております。加えて、医療従事者向けの講座やワークショップを 2012 年から毎年開催し、臨床現場等で効果的な介入ができる医療者の育成に取り組み、これまでの受講者は 1,300 人を超えています。

また、1 年間で全国 400 か所の医療機関等に約 6,000 冊の冊子をお届けしています。2022 年には、がん治療の現場で見過ごされがちな患者の子どもを支える活動を続けているこれまでの活動が評価され、公益財団法人日本対がん協会の「日本対がん協会賞」（団体の部）、また令和 8 年度健やか親子 21 内閣府特命担当大臣表彰において、取組名「親ががんになった子どもとその家族の支援」として団体部門優秀賞を受賞しました。

（健やか親子表彰は、国および地方公共団体が講ずる成育医療等の提供に関する施策に協力し、先駆的な取組により、成育過程にある者の心身の穏やかな成育ならびに妊産婦の健康の保持および増進に寄与する自治体・団体・企業を表彰する制度です）

詳細は、https://hope-tree.jp をご参照ください。